



7月に実施した学校アンケートの結果です。2学期以降の教育活動に生かしていきたいと思えます。御協力ありがとうございました。

## 教育活動中間報告～学校アンケートより～

### I 7月（1学期末）アンケート結果の傾向と分析

肯定率…「よくできた」「できた」の2つの評価を「概ね満足している」ととらえた割合。  
(矢印は昨年度との比較…↑アップ、↓ダウン、=同数値)

評価項目（太枠がR4重点項目）		児童(%)	保護者(%)	教職員(%)
1	学校が楽しい	85 ↓	93 ↓	100 =
2	みんなで何かをすることは楽しい	92 =	96 ↓	100 =
3	めあてを守って『なりたい自分』に近づいた (生活づくり)	86	54	83
4	友達に気持ちの良い挨拶をしている (生活づくり)	84	86	92
5	友達と一緒に学習するのは楽しい	91 ↓	88 ↓	100 =
6	授業へ主体的に取り組んでいる	87 ↓	78 ↓	92 ↑
7	授業で自分の考えを進んで伝えた (学びづくり)	86	57	83
8	信頼できる先生がいる	87 ↓	83 ↑	
9	進んで読書をしている (学びづくり)	77 ↑ (学校で)	43 ↓ (家庭で)	83 ↑ (学校で)

#### ○全体的な評価について

- ・昨年度と比較して数値は下がっているが、ほとんどの項目において、児童、保護者、教職員共に、肯定的に高い評価をしている。「みんなで」「一緒に」学びに向かい、生活を楽しんでいると感じている児童が多く、自分自身や友達のよいところを認め合いながら安心して学校生活を送ることができている。
- ・「信頼できる先生がいる」は、児童が昨年度より2%下がり、保護者が13%上がっている。児童に寄り添い、ともに考える意識を校内で共有して信頼関係をさらに発展させていく。家庭との連絡を密にして相談体制を充実させてきたことは成果として表れている。

#### ○グランドデザインに掲げた評価項目（太枠の部分）の数値目標の達成について

- ・「めあてを守って『なりたい自分』に近づいた」(No.3)では、「当てはまる」(48%)「どちらかと言えば、当てはまる」(37%)だった。めあてを立てて達成感を感じられている子は多いが、自分事としての捉えがまだ十分ではない。活動

中に意識して向かえているか、自分のやりたいことが言葉になっているかなど、「なりたい自分」に向けた児童の主体性を高めることで向上を図る。

- ・「友達に気持ちの良い挨拶をしている」(No.4)では、「当てはまる」(54%)「どちらかと言えば、当てはまる」(30%)だった。挨拶の大切さはどの子も感じているが、気持ちの良さにつながっていない子が少なくない。良い表れや場面を価値化するボイスシャワーを掛けたり、自分と向き合いよさを見付ける時間を設定したりして向上を図る。
- ・「授業で自分の考えを進んで伝えた」(No.7)では、「当てはまる」(50%)「どちらかと言えば、当てはまる」(36%)だった。多くの子が授業の中で自分の考えをもつことができているため、それを伝える場面や方法を教師がともに考えて工夫したい。伝え合うことを通して対話力の向上を図り、学びが深められるような課題設定の工夫や学習用タブレットを活用して授業改善を進めていく。
- ・「進んで読書をしている」(No.9)では、「当てはまる」(48%)「どちらかと言えば、当てはまる」(30%)だった。朝読書や図書館デーを活用することにより学校で本に親しむ習慣作りはできている。読み方指導による読書の質の向上や、より多くの種類に触れる読書環境整備を進める。また、読書の習慣が校内に限定されている傾向がある。学校と家庭とで数値が大きく離れてしまったため、家庭学習等を通して家庭での読書も習慣化していきたい。

## Ⅱ 今後の取組について

### ○生活づくり

#### ・子ども同士で認め合う場を設ける。

各月で、「なりたい自分」になるために自分ができたことを子ども同士で伝え合い、お互いに認め合う時間を確保する。学校で伝え合ったことを家庭でも話題にするような働き掛けを行う。

#### ・挨拶の場や方法を学ぶ機会の設定。

まず師範となる挨拶を教師が積極的に行う。また、昇降口や教室の入り口等に「あいさつライン」を設けて習慣化を目指し、廊下や階段などでの挨拶（会釈を含む）につなげていく。にこにこ隊（委員会）による挨拶運動や啓発動画の作成も進める。良い表れを示した児童に対してボイスシャワーを掛けていく。

### ○学びづくり

#### ・授業での課題設定を工夫し、児童の主体性を高める。

ルーブリック（評価基準）を達成するための課題になっているか吟味し、教師側の発問を工夫することで、子どもたちが主体的に活動できる環境を整える。また、学習の見通しがもてるような授業を計画し、学びの振り返りを通して、「できるようになった」という実感がもてるようにする。

#### ・学校での読書習慣を家庭にもつなげる。

図書担当を中心に、1学期に効果的であった図書館デーや読み聞かせ等の取り組みは継続していく。また、家庭学習や親子読書など家庭とつながる読書の機会を明確に示していく。